

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 87

2015年3月17日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、松尾廣伸先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「ライフサイエンスワールド 2015 第12回 アカデミック フォーラム」に出展します
2. 「第8回研究・開発成果発表会」のご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更していただきます。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

-
1. 「ライフサイエンスワールド 2015 第12回 アカデミック フォーラム」に出展します

バイオ・個別化医療・医薬開発の3分野の展示会とアカデミックフォーラムで構成されるライフサイエンスワールドは、大学研究者から、製薬メーカーなどの企業、個別化医療に関わる検査機関まで、あらゆるライフサイエンス関係者が来場する展示会です。
ぜひご来場ください。

【日時】2015年5月13日（水）～5月15日（金）
10：00～18：00（最終日は17：00まで）

【場所】東京ビッグサイト 西3・4ホール

【静岡大学の出展・発表内容】

農学研究科 准教授 加藤 竜也

口頭発表日時：5月14日（木）14:00～14:30 口頭発表会場：ACA-1

発表タイトル：カイコ-BmNPVバクミド発現系の応用

農学研究科 准教授 笹浪 知宏

口頭発表日時：5月15日（金）15:30～16:00 口頭発表会場：ACA-5

発表タイトル：顕微受精を用いた鳥類の孵化育成

理学研究科 講師 成川 礼

口頭発表日時：5月15日（金）14:00～14:30 口頭発表会場：ACA-2

発表タイトル：遠赤色光吸収により光変換しつつ蛍光を発するタンパク質の発見

と開発

【詳細】<http://www.lifescience-world.jp/>

【問合せ先】静岡大学イノベーション社会連携推進機構

TEL：053-478-1701

FAX：053-478-1711

-
2. 「第8回研究・開発成果発表会」のご案内

県西部地域における産学官の幅広いネットワークの形成と活発な交流の促進及び技術開発のための情報の共有化を目的に、静岡県と県西部地域の

しずだい産学連携メールマガジンVol187

大学及び産業支援機関との共催により研究・開発成果発表会を開催します。
浜松工業技術支援センターと大学の研究開発成果の発表、ポスター展示・ポスターセッション及び支援機関のポスター展示をはじめ、特別講演として一般財団法人日本品質保証機構（JQA）による「ISO9001規格改定動向」を計画しております。

【日時】2015年6月12日（金）

13:00～17:00（受付 12:30～）

【場所】静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター

大・小研修室、視聴覚室、ロビー

【内容】

- (1) 研究・開発成果発表 14:10～16:30（16～18テーマ）
レーザー・光、電磁波、半熔融成形、材料加工・評価、繊維複合材料、等（センターの技術分野）
各大学における最近の研究成果（各大学から1件～数件の参加）
- (2) 特別講演 13:05～14:05
『ISO9001規格改定動向』
一般財団法人日本品質保証機構（JQA）（講師は未定）
- (3) ポスター展示（13:00～）、ポスターセッション 16:30～17:00
研究・開発成果ポスター及び共催・後援各機関における企業支援策の出展等

【主催】浜松工業技術支援センター、浜松センター協議会

【共催】静岡大学、静岡理工科大学、静岡文化芸術大学、光産業創成大学院大学
（後援）中小企業基盤整備機構関東本部

【参加費】無料

【問合せ・申込先】

〒431-2103 浜松市北区新都田一丁目3-3

静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター
技術支援担当

TEL: 053-428-4152、FAX: 053-428-4160

E-mail: hamamatsu[at]iri.pref.shizuoka.jp

《 みんなのコラム -81- 》

記：工学研究科 電気電子工学専攻 助教 松尾廣伸

地球に降り注ぐ太陽エネルギーは1時間で全人類の年間消費エネルギーに相当するとされています。私たちは、太陽エネルギーをはじめとする再生可能エネルギーを有効に活用するための研究や省エネルギー化のための研究を電気エネルギー利活用の側面から行っています。これらの分野は、東日本大震災以前は地球温暖化防止の色合いが濃いものでしたが、震災後エネルギー需給の色合いが濃くなり、そしてシェールオイル・ガスの普及以降その色合いが薄らいできています。その一方で、日々感じているように大型の台風や豪雪など気候変動のために自然災害は猛威を増しています。再生可能エネルギーは不安定で費用対効果が低いものが多いですが、その普及は未来のためにはなくてはならないものです。地産地消、知産知消で少しずつでも改善していければと思います。

工学部は浜松にあって、残念なことに建築・建設・土木・都市工学系の学科を持っていません。さらに言うと静岡県内にも極僅かしかありません。この中でも建築は地域気候特性の影響を強く受け、ぜひとも必要な分野であると思います。そのようなこともあり、住宅・住環境分野における再生可能エネルギー利用には特に力を入れています。最近では、スマートハウス、ZEH（zero energy house）、ZEB（zero energy building）という言葉が良く聞かれるようになりました。当研究室では、電熱ハイブリッドソーラーシステムにヒートポンプ・地中熱を組合せ、エネルギーの質と量をコントロールし、

電気だけでなく住宅の消費エネルギーの半分を超える給湯・暖房の低温熱エネルギーも同時に供給できるシステムの開発を行っています。もう一つの柱は、農業分野です。生活の基本は今でも衣食住だと思えます。施設園芸や植物工場が増えている現在、安定供給のためにも施設園芸化は必要なことかと思えますが、省エネルギー化の工夫が必要です。

あまりお役に立つことは出来ませんが、歩みも遅いですが、幸せな未来を目指して一緒に歩いてみませんか。今後とも宜しくお願いいたします。

<< 編集後記 >>

2月13日、静岡大学浜松キャンパス構内に、静岡大学、浜松医科大学、光産業創成大学院大学、浜松ホトニクス（株）の共同で申請した文部科学省「地域資源等を活用した産学連携による国際科学イノベーション拠点整備事業」により、「光創起イノベーション研究拠点棟

(iPERC: Innovative Photonics Evolution Research Center)」を竣工したことを記念して、開所式が執り行われました。

当日は、200名を超える方に出席いただき、式典に続いて新棟でのテープカット、内覧会を行い、記念シンポジウムでは、日本女子大学名誉教授の小舘香椎子先生に「光に魅せられて」と題してご講演いただきました。

今後は、JSTのCOI-S「時空を超えて光を自由に操り持続的な社会の実現」をはじめ、様々な光の革新的研究を進める拠点となります。

* - *

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp) までお願いします。(↑送付の際は[at]を@に変更してください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構

編集：谷口悠里

発行責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1413

URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

* - *

Copyright (c) 2008-2015

Organization for Innovation and Social Collaboration,
Shizuoka University. All rights reserved